

会 議 録

会 議 名	第 24 回米原市男女共同参画審議会
開 催 日 時	令和 6 年 11 月 7 日 (木) 午後 1 時 30 分～ 3 時 40 分
開 催 場 所	米原市役所 本庁舎 4 階 会議室 4 A
出席者および欠席者	出席者：小沢修司委員(会長)、渡部優委員 (副会長)、塚田多佳子委員、谷本政信委員、堤辰也委員、西村正子委員、中村真理委員、膽吹照子委員、岸根千代美委員 欠席者：時田智史委員 米原市：宮川総務部長、筒井人権政策課長、澤課長補佐、谷川主幹、堀主任 市男女共同参画センター：山田所長
議 題	・女性市議会議員等との意見交換会 【審議事項】 ・女性の社会参画や政治参画推進に向けた方策と取組等の答申(案)について
資 料	当日配布資料 ・座席表 ・米原市人権センター S・C だより (11 月号) 事前配布資料 ・次第 ・資料 1：米原市男女共同参画審議会委員名簿 ・資料 2：米原市男女共同参画審議会規則 ・資料 3：女性市議会議員さんとの意見交換会 ・資料 4：女性の社会参画や政治参画推進に向けた方策と取組等について (答申) (案)
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	○市および近隣自治体の女性市議会議員等との意見交換等の意見を踏まえ、女性の社会参画や政治参画推進に向けた方策と取組等についての答申のまとめに向けて協議を進めていくこととなった。
審 議 経 過	議題について事務局から説明を行った後、各委員から意見等をいただいた。意見は別記のとおりである。
会議の公開・非公開の別	■公開 傍聴者：なし
会議録の開示・非開示の別	■開示 □一部開示 (根拠法令等：) □非 開 示 (根拠法令等：)
全部記録の有無	会議の全部記録 ■有 □無 録音テープ記録 □有 ■無
担 当 課	総務部 人権政策課 (内線 4263)

【第 24 回審議会 会議録】

■女性市議会議員等との意見交換会

資料 3 に基づき意見交換会を行った。

会長

事前にお送りした 5 つの質問項目「市議会議員になろうと思われたきっかけ」「選挙運動期間中に感じられたこと」「実際に議員として活動されている中で、感じたあるいは感じておられること」「女性が議員になるために障壁となるものはどんなものか」「女性議員候補者を増やすために必要・有効だと思われることは」について、ひとり 10 分程度で、3 人の方からお話しいただいた後、審議会メンバーとの意見交換を行います。それでは、市議会議員の方々をお願いします。

市議会議員

この審議会が 10 人で構成されていて、米原市が女性の参画に対して思いを持っておられると感じています。本日は、事前にいただいた質問をフリートークでお話させていただきたいと思えます。議員になったきっかけは、私は元々商売屋の子で、たくさんの方が出入りする家庭に育ったこともあり、人とすぐに打ち解け一緒に何かをすることが好きだったのが土壌にあったと思えます。親戚が県議会議員をしていて、幼い頃から選挙の雰囲気がお祭りみたいだと思っていました。様々な団体で活動している中で、変えてほしいことや困っていることがそれぞれありますが、個々の活動先で話しているだけでは何も変わらない、誰かが議員になって声を上げないとといった声があり、市議会議員の補欠選挙があったのがきっかけです。選挙期間中に感じたことは、選挙事務所が楽しく、若い子や元気のいい方もおられお祭りみたいだと感じました。議員として活動している中で感じることは、皆さんが自分たちのまちのことに関心がないと強く感じます。女性が議員になるために障壁となったものは、あまり感じませんでした。家族も一定理解があり、子どもは、みんなのために頑張っているから嬉しいし誇りに思っていると作文に書いてくれました。ただ、私が頭を下げることは平気ですが、家族にも頭を下げてもらうことが心苦しいと思いましたが、私が議員活動をしていること、皆さんと交流できることが母の励みや生きがいになって、別の形の親孝行だと思っています。女性議員を増やすには、私の住む地域では女性が色んなことをしても批判等はありませんが、地域によって意識感覚は様々です。女性初を続ける中で批判的な言葉もありましたが、今では女性の会長なども増えています。誰かが思い切って実行しないときっかけがつかれないと思っています。大変なこともあります、大変だと思わないように日々頑張っています。

会長

ありがとうございます。では、続いてよろしくをお願いします。

市議会議員

市議会議員になろうと思ったきっかけですが、議員になろうと思ったからではなく、出産時に

出会った助産師さんの影響で少しずつ自分が変わり、地域で子ども食堂やフードバンクなどの市民活動を始め様々な人との繋がりもでき、また、議員へのお声掛けで自分が意識するようになりました。思い切りがつきませんでした。子どもに聞くと「好きにしたらいい」と言ってくれたので出させていただきました。選挙運動期間中に感じたことは、私は仲間と選挙運動をしましたが、選挙未経験者ばかりで専門用語も分からず手作りの選挙で、選挙は男の人の世界のように感じていました。議員として活動している中で感じていることは、知らなかったことを学べる機会をいただけ、会派でそれぞれ思いが違っては良く、自由に活動できるのでありがたい立場だと思っています。また、市のホームページに連絡先が掲載されているため様々な電話や手紙がきますが、返事をしたくても連絡先がわからず、自身の SNS もどこまでオープンにしているのか公私の区別などで、しんどいと思う時もあります。市職員との関係では本音で話せるといいなと感じています。女性が議員になるための障壁は、子育て中や若い世代の方は、家族の理解・協力は必要で、私自身、仕事する中で部長や課長が女性だと話しやすいと思うので女性が増えるといいと思います。女性議員候補者を増やすために必要なこと、政治が自分たちの暮らしに繋がっていることをもっとみんなが感じてほしいです。日頃から家族の会話で政治のことなどが出るといいと思います。臨機応変で発想力豊かな女性がたくさんおられると思いますが、様々な立場や子育て、仕事などで、なかなか一歩が踏み出せないことを思うと、もっとフランクに市議会議員や県議会議員と市民が対話できる場がたくさんできれば良いと思います。また、私は選挙活動費用を極力抑えました。お金がないと選挙に出られないと思われる人の考えを変えたい思いで、お金がかからないことをアピールできるといいなと思っています。

会長

ありがとうございました。続いてお願いします。

元市議会議員

私が市議会議員なろうと思ったきっかけですが、嫁ぎ先で生活する中で不合理を感じていました。地域のことは全て男性で、総会などに男性の代理で女性が出ることはほとんどないといった風習の中で生活してきました。ある時、市の公共施設を使用する際に使用料が有料で、なぜみんなが使う場所なのに有料なのかと話をしていたところ、そう思っているのなら議員になって意見しないと一個人が言っているだけで何も成立していかないとアドバイスをもらったことがきっかけになりました。選挙期間中に感じたことは、一人の女性が議員になるためにはどうしていいかわかりませんでした。地域の公民館を借りたりして選挙活動をしました。誰でも選挙に出られるように、出るためのアドバイスを自ら尋ねなくても良いシステムなどが出来上がってほしいなと思いました。議員として活動している中で感じたことは、議員になったので、毎回一般質問をさせていただくよう努力しました。また、行政の方は質問の調整、対応を丁寧にしてくださいましたので、今でもありがたかったと思っています。女性が議員になるために障壁となったものは、やはり男性社会なので、なぜ女性が出るのかといった感じで、出ないように仕向けるような嫌みや振る舞いをされたりし私には大きな影響がありました。また、議員になるには家族の理解も大事で色んなことを話し合い、女性が議員になるには家族の理解なくしてはできないことを強く感じました。女性議員候補者を増やすために有効だと思うのは、男性の理解で、色んな方と

色々な話をしていく中で自分の思いを理解してもらい、相手の思いを聞くことが大事で、それが議員になったときに芽が出る機会になるのではないかと思います。

会長

ありがとうございます。今、3人の方からお話いただきました。これから意見交換としますので、委員の皆さん質問をお願いします。

話の中で、暮らしに直結する政治を身近に感じてほしいと言われましたが、皆さん共通の思いだと思います。政治は身近だけれど、なかなか感じ取ってもらえない。地域の暮らしで良い社会を作っていくためにも議会の理解など議会が変わることが大事だと市民活動を通じて実際に感じられ、議員になろうとされたのですね。

市議会議員

様々なイベントを行いますが、それぞれ仲間が違います。市民活動を始めたのは映画の上映会でしたが、その時の職員の方が親身に相談のってくださり、他の催しの相談も市の職員さんでした。活動の中で出会った職員さんに相談できる相手がいたため、形となり自分の納得できることに繋りましたが、市民の方々の多くは用事がなければ市役所へは行きません。議員は、市民の代表であって一市民で、困りごとがある市民の様々な話を聞き、そこで色々な制度を学び一緒に市の職員さんと考えていく立場というだけです。市民と議員が同じ目線で一緒に何かをやっていくことが当たり前で、議員に相談したいときに、もっと気軽にできないといけないと感じています。情報を得ることが得意ではない人に、いかに情報を知っていただくか、その橋渡しを議員がしていく必要があると感じています。

会長

暮らしと政治の接点、近いはずなのになかなか市民の方が自分の暮らしで忙しくて感じられないことに対して、親族の方が議員活動をされていて選挙がお祭りみたいで、自分が議員になる違和感もなく感じられた話がありました。議員自身が、政治が市民に近いものだと思ってもらうことも大事ですね。

市議会議員

そうですね。どの議会でも、議会改革で議会を変えていかなければと考えています。議員は市民に何をしているのか見えていないので、しっかりと伝えなければいけない。中には、議員を職業と考えている人もいて自分のために働いてるような人もいます。動けば抵抗もありますが、市全体を思い、様々な市民や行政の声を聴き、これからの市のためにどうすれば良いかを判断しなければいけないし、市民のために自分にできる場を与えていただいたと思わなければと思います。

会長

皆さん、ほかに意見や質問をお願いします。

委員

女性議員候補者を増やすために必要有効だと思われることで、行政として議員と対話できる場を用意することはできるだろうと思いました。暮らしと政治が繋がっていると知ってもらうために具体的に行政の人に助けてもらうとすれば、どんな補助をしてもらうとやり易いと思いますか。

市議会議員

議会として市民の皆様との意見交換会をやっていますが、準備等もあるので年に 1、2 回ですが、私は月に 1 回でも議員数人ずつでも良いので、いろんな方の話を聞く機会を持つことを議会としてやっていくべきではないかなと思います。その後方支援を議会事務局の方がしていただけたらありがたいと思います。当局や市職員の方とも話したいけれど、まずは市民の皆さんと話す機会を増やせると良いと感じています。

委員

全く選挙を知らない状態で選挙に出ようと思ったとき、最初にどこに相談したら良いのか分からないのですが、どのように知られたのかプロセスを教えてくださいたいです。

市議会議員

一緒に活動している仲間の 1 人に相談したとき、「1 人にはしない」と言ってくれました。孤独が一番怖かったので、その仲間と一緒にインターネットで調べたり、本を読んだりしました。細かい決まりもあったため選挙管理委員会や仲間、現職議員さんなどにも聞いて手探りでやりました。

会長

他の委員さんはいかがですか。

委員

市民活動団体で、市議会議員と語る会を行っていました。議事を身近に感じる点では大事な役割であると思っていたのですが、そこからあまり進まなかったような気がします。

市議会議員

意見交換会での意見をまとめ、その意見をどうしていくかのかまで見える化するようになっています。聞いて終わりにならないようにみんなで共有しています。

市議会議員

議会公聴会を行っていますが、参加される方は言いたいことがあって来られます。しかし、執行部に確認する必要もあり直ぐに答えられないこともありますので、意見を持ち帰り議長に報告し、議長からそれぞれの部へ共有し回答いただく形にしています。議会改革の中で色々やってきましたが参加者が増えることがなく、どの会場も同じ人が来られることが多いのが現状です。

会長

他の委員さんいかがですか。

委員

私も議員さんがあまり身近ではなかったのですが、実際に議員さんがこういった仕事をしてくださっていることを改めて本日知ったのが正直なところですよ。女性ならではの視点はすごく大事だと思いますが、実際にどのくらいの割合で女性がいると良いのか、もしくは、そうではなく人なのか年齢なのかを教えてくださいたいと思います。

市議会議員

女性の割合ですが、本市ではコンスタントに5人程度いて割合は高いです。それぞれ所属している会派が別で考え方は違いますが、女性だから分かることは共有できます。子育てや家事での共有部分で意見書を女性議員連名で出したり、女性の幹部職員と懇談会をしたり、まともにはあります。女性が少数だと声が小さく消えてしまう可能性もあるので、20%位いると良いのではと感じますが、ハードルは高く家族の理解も必要で、地域でも「女のくせに」といった意識が残っているのが現状です。しかし、ハードルは高いけれど1人で越えられないハードルを一緒にまちを良くしようと超えてくれる仲間を作らなければならないと思います。その中の1人として議員に立候補できるのが一番良い形だと思います。

会長

委員の方、他に質問はありますか。

委員

個人的に立候補されたのが5人程度だったということですか。組織的に女性を擁立される動きがあったのですか。

市議会議員

政党によって暮らしに密着という所で女性を出す率が高いところもありますが、ほとんどの皆さんが思いを持って立候補されたと思います。

会長

先ほど、地域では「女のくせに」などといった発言があるといった話がありました。みなさん、それを乗り越えてこられたと思いますが、その意見はどう思われますか。

市議会議員

地域で議員をされてた方が次に立候補されない場合は、代わりの人が出る風習があります。私は地域の方に応援等お願いしませんでした。直接誰かに何か言われたりすることはなく恵まれてると思います。本市の女性議員それぞれ情報共有をしています。嫌味などを言われることもなく、尊敬できる議員の方もおられるので、年齢や経験でもないのかなと思います。

会長

女性初を経験されて、「女のくせに」などということについては、どう受け止めているのか教えてくださいいただけますか。

市議会議員

議員によらずですが、思いをしっかり持つこと、思いにブレがないこと、何か言われても動じないことが大事だと思います。最初は色々言われましたが、一つ一つ気にかけて迷ったり悩んだりすると前には進めないで、しっかりと一本筋を通していくのが大事だと思います。

会長

ほかに、委員の皆さんいかがですか。

元市議会議員

米原市には女性の議員がおらず、推薦したい方に話をしましたが、やはり同居している方の壁がありました。女性が議員になるには、一緒に暮らしてきた方の理解がないと厚い壁になることを私も経験しました。幸い私は理解してもらえて議員になりましたが、議員になって何かやりたい思いがあっても、議員として出発点に立つことは難しいのが現実だと思います。女性が議員になることをあまり良く思わない地域性などもありますが、それを跳ね除けられる方を見つけて、一緒に応援しながら頑張っていきたいと常々思っています。

会長

まだ聞きたいこともあります。以上で意見交換会を終了させていただきます。本日は貴重なお話をありがとうございました。

それでは、本日の審議事項になります。意見交換会での内容も答申に盛り込んでいきたいと思いますが、女性の社会参画や政治参画推進に向けた方策の答申案について事務局から説明をお願いします。

審議事項

女性の社会参画や政治参画推進に向けた方策と取組等について

資料4「女性の社会参画や政治参画推進に向けた方策と取組等の答申（案）について」に関して事務局から説明を行った後、各委員から御意見をいただいた。（詳細説明略）

会長

この答申案は、市民への働きかけと議会の課題として整理していると思います。市民への働きかけとして具体的に必要なことについて委員の皆さんお願いします。

委員

先ほどの話に出てきた議員と対話する場を早めに作ると良いと思います。

会長

市民の方に議会を身近だということを理解していただく取組み、市民に対しての働きかけの項目などの意見をお願いします。

委員

米原は、まだ地域的にも封建的で男性が中心で自治会活動をされてるところが非常に多いため、男性の意識改革が重要ではないかと先ほどの話を聞いて思いました。男性に対し女性を良きパートナーという意識が持てるような働きかけが必要だと思います。ガラスの天井がまだ存在する話もあり、男性の意見が強いところがあるため、理解を求め意識を変えていく必要があると感じました。

会長

地域の自治会等で、これまで審議会でも地域の自治会で女性役員を増やすことも取り上げてきたので、男性の意識改革をする上でも、議会の前に、地域でも自治会活動に女性が役員とし参画することの必要性を繰り返し意見するといった市民への働きかけも必要だと思います。自治会での女性活躍、身近な地域で女性が役員として入ってもらい、そういうことが具体的な働きかけとしてあっても良いと話を伺って思いましたが、いかがですか。

委員

ぜひ。先ほどの意見交換会でも、市議会議員に出るまでに地域でいろんな活動をされ、その中から気づきがあって議員選挙に出られた話もあり、地域から根付いた活動から発展していく流れが良いのかなと思います。

会長

そのほか、いかがですか。

委員

人材育成講座や政治入門塾もすごく良いと思いますが、どうしても政治に関心があることが焦点になるとハードルが高くなってしまいますので、米原で行っている地域のまちづくり大学（ルッチまちづくり大学）を上手く活用できないかと思います。

委員

ルッチまちづくり大学で学んでもらい、そこから模擬議会を開くのも良いですね。

委員

まちづくり大学はプログラムがあり、また、方向性が違うから難しいかもしれません。

会長

政治が変わらないと、なかなか自分たちの暮らしも良くなるので、しっかり理解いただけることは大事だと思います。模擬議会という話もありました。

委員

先ほどのルッチまちづくり大学で知識を身に付けてもらった上で、自分たちのまちづくりを考え、政策を議会で提案いただき、模擬議会体験をしていただくと、自分たちの生活が変わるところを理解してもらえるのかなと思います。

委員

市民活動団体で取り組んできたことが、身近な生活と政治の視点を持った取組みだったと思うので、また、市長と語る会や議員と語る会ができたら良いと思います。

会長

女性の政治参画や社会参画を進めるような市民活動団体は他にあるのですか。

委員

子どもたちに読み聞かせをするイベント等に参加していますが、世代ごとの子育てグループがあちらこちらにできていると感じています。女性の自治会長や自治会長代理もおられ、地元のサロンでも女性が中心となり関わってくださっていますので、女性で活躍されている方がたくさんいると感じました。子育てのために政治や生活を変えてほしいという思いを持たれている方も多く、話せる場がたくさんあれば色々やっていきたいと思われる方もいると思います。ルッチまちづくり大学の話がありましたが、市でも連携を図り、政治に参画してみようと思われる方をフォローできる機会があれば良いと思います。

会長

男女共同参画社会の実現に向けた人材の発掘、女性活動団体とのネットワーク作りなどを通して人材育成講座や政治入門塾等の開催とありますが、人材の発掘では、なでしこネット登録者で

交流会や意見交換会をしてはどうかといった発言が以前にありました。横の繋がりとして交流会等へ働きかけたら、思いがある方が多いので、何か動きが出るかもしれません。なでしこネットへの働きかけは一つの手段かもしれないですね。どうでしょうか。

委員

良いと思います。そこに議員や市長と語る機会を設けたり、抱き合わせでやれば意義のあるイベントになるのではと思います。

会長

次に、議会の環境整備です。

委員

オンライン開催などがありますが、議会見学は時間が限られていて難しいので、家でライブ配信を聞きながら家事をするなどができると、もう少し自分の生活の中に取り入れやすいと思います。

会長

議会の環境整備は、女性議員が議会活動するに当たって、議場に行かないと参画できないのではなく、オンラインで議会が開催されると、ケアを抱えながらも自宅で議会に参画できるという取組みもありますが、今の発言は、議会の模様をYouTubeなどで配信して身近に感じられるという取組みの方ですね。米原市の議会では、議会の様子を配信することはないのですか。

事務局

ケーブルテレビで議会の様子を配信しています。

委員

ライブ中継なので、夜は見られないですね。

事務局

情報発信が十分でない部分もありますが、一般質問に関しては、生ライブ配信をしており、ウェブサイトでは、何月何日の一般質問、質問や答弁がスポットで24時間見られます。ただ、常任委員会は映像配信していませんので、常任委員会のライブ配信をした方が良いのではないかという議論は、今議会でもやり始めています。

会長

議会の取組みとして、議会自身が市民に議会が身近な存在であるということを働きかけていく対応も必要ですね。

委員

アメリカでは、シンクタンクがあり、今の政治がどのようになっている、立候補者がどんな発言をしていて、どう考えていけばいいのかをまとめ情報発信しているようです。日本では選挙広報になりますが、アメリカでは教育となっています。日本でも、大人も子どもも教育が必要だと思っています。米原市の広報などで、選挙の仕組みなど小学生が見てもわかる程度のものをまとめたり、立候補したらどんな流れになるのか見える化ができれば面白いと思いますし、家で家事をしてる主婦も見ると思います。

会長

身近な存在として理解いただく取組みをされていると思いますが、議会自身が議会活動を市民にしっかり理解いただくことが大事です。市民への働きかけで、行政だけでなく議会自身も市民に働きかけることが大事だということを取り入れても良いですね。それが、議会を身近なものとして理解してもらえることになり、YouTube 配信や、わかりやすくまとめて市民に発信することになるのでしょう。また、ハラスメント対策等の研修は、議員に対する研修で、相談窓口の設置は、議員からの相談を受け止める窓口ですね。現在、米原市には女性議員がいませんが、女性議員が出たら窓口や研修も必要で、女性に関してだけではなくパワハラなどもあるのかもしれませんが。ハラスメント予防・防止の取組みは、議会として必要があると思いますが、このことを盛り込むことについて皆さんどうですか。

委員

良いと思います。

会長

それでは、皆さんの意見を整理し、3人の議員経験者の方々の意見も含めて修正した答申案を検討する審議会を再度実施したいと思います。皆さん、よろしいですか。それでは本日の意見交換会および審議を終了します。

《終了》